

11月度 <small>例会</small> <b>山行報告書</b> <small>個人</small>		報告者	大矢康裕	参加 メンバー	CL:大矢康裕 浩貴
		報告日	12/12		
山域	鈴鹿	山行日	07年11月24日(土)~		
山名	鎌ヶ岳		07年11月24日(土)		

山行目的	山歩きに慣れる	コースタイム(天候:天気図記号)
------	---------	------------------

配布先  
集会:12  
山行:1  
リーダー  
原紙:集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

2.5万分の1地図:伊船

11/24 快晴  
8:40 名古屋発  
10:00 宮妻ヒュッテ  
10:20 発  
11:10 一本  
11:25 発  
12:20 一本  
12:35 発  
13:30 鎌ヶ岳直下コル  
14:15 鎌ヶ岳頂上  
14:30 鎌ヶ岳直下コル発  
15:20 一本  
15:30 発  
16:30 宮妻ヒュッテ  
19:00 名古屋着

山行報告 先々週の御在所岳に引続き、長男との対話を楽しみに鈴鹿の鎌ヶ岳をカズラ谷ルートから登ることにする。寒冷前線通過後、11/18(日)に強い冬型になり、翌日の11/19に、鈴鹿の近くにあるデンソートリムに出張した時に見ると、北部の藤原岳・竜ヶ岳は雪で真っ白、御在所岳・鎌ヶ岳も中腹部から上は積雪があった。その後、一旦は暖かくなったが、11/20(火)から11/22(木)にかけて、ブロッキング高気圧の影響で強い寒気が南下して、日本海側では11月にしては記録的な積雪となり、鈴鹿にも降雪があったようである。11/23(金)には解消されて、移動性高気圧によって好天が期待される。8:40に名古屋の自宅を出発。抜けるような秋空で、雲一つもない快晴の登山日和である。東名阪道から見ると、やはり藤原岳は相変わらず真っ白だが、鎌ヶ岳は大して雪はないようだ。10時に登山口の宮妻ヒュッテに到着。紅葉のシーズンとあって、既に20台ほどの車があった。カズラ谷ルートは南側なので、比較的積雪は少ないと思い選んだ。あまりの天気の良さに、私が休憩後の出発時に『さあ、行こう』という、珍しく長男から『何が最高?』とダジャレが出て、思わず大笑い。鎌ヶ岳に近づくに従って、日陰に雪が出始め、雲母峰分岐から岳峠への北斜面トラバースでは、雪がべったりと付いている。背丈ほどある笹が倒れ込み、行く手を阻み歩きにくい。時間的にあまり余裕がないが、岳峠から鎌ヶ岳直下まで行ってみることにする。鎌ヶ岳直下のコルには数人の登山者が休憩していた。ここから南壁の右側のルンゼを登るが、南斜面なので雪はない。しかし、ここの急登で長男がパニックを起こし、進退不能となる。どうすることもできないので、とりあえずゆっくりとコルまで下る。私は走って10分弱で頂上を往復したが、岩に雪がべったり付いている箇所が一部あったので、長男を下ろして正解だったようだ。紅葉の秋と雪の冬が混在する面白いルートを楽しみながら下山。

フリースペース  
山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に



11月の雪に大喜びの坊主

確認  
(リーダー)  
大  
07/11/24  
矢  
作成  
(報告者)  
大  
07/11/24  
矢

リーダー所見 鈴鹿をホームグラウンドにしていた学生時代以来、長年登っているが、11月に積雪した鈴鹿を登るのは今回が初めて。11月の鈴鹿でこれほどの積雪は記憶にない。貴重な体験を今後に活かして欲しい。